

シンポジウム

女性・平和・安全保障

—市民の力で政策実現を！—

平和とジェンダー平等に関心をもつ方々へ

2000年に国連安保理で採択された決議1325号「女性・平和・安全保障」は、軍事・男性中心だった安全保障にジェンダーの視点と女性の参加をうながす画期的な内容でした。

この1325号決議を日本が実施するための行動計画案(NAP)は、市民社会・学識経験者・政府間の協議にもとづいて起草され、9月上旬にはパブリックコメントに付される予定です。

一方で政府はいっそうの軍事化を進めており、行動計画が真に1325号決議の理念を実現するものとなるためには、市民の力が不可欠です。そのために何ができるか、議論しましょう。

2014 金

9
12

- 18:30～21:00 (開場 18:00)
- 文京学院大学 本郷キャンパス
B館8階「ウイングホール」
(東京メトロ南北線「東大前」2番出口上)
- 参加費：500円
- お申込み：不要

プログラム

- 安保理1325号決議と国別行動計画の意義
- 日本NAPの策定プロセスと市民連絡会の活動報告
- NAP外務省案の解説
- パネルディスカッション 「日本NAPを市民社会の力でどう活かすか？」

安保理決議1325号とは

- ①安全保障や紛争予防・解決に関わるあらゆるレベルの意思決定に、女性の平等な参加を保障すること
 - ②ジェンダーに基づく暴力から女性・女児を保護し、加害者を処罰すること
 - ③平和維持・構築活動にジェンダー視点を導入すること
- 等を決議しました。
日本を含む各国は、国別行動計画(NAP)を策定して、決議の内容を実行するよう求められています。

主催：1325NAP市民連絡会／共催：全国フェミニスト議員連盟

お問い合わせ：アジア女性資料センター TEL 03-3780-5245 / E-mail: ajwrc@ajwrc.org